結い　だより

第７４号
発行
社会福祉法人　結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1　203
TEL　086-206-7385
FAX　086-206-2801
発行責任者
前田　勝子

優生保護法　最高裁「全面勝訴！！」

障がいがあるというだけで不妊手術を強制した悪法「旧優生保護法」の被害者が、国に謝罪と補償を求めた5件の訴訟に対し、7月3日最高裁大法廷は「立法当時の社会状況をいかに勘案したとしても正当とは言えない。」と指摘。裁判官15人が全員一致で違憲と判断し国の賠償責任を認める全面勝訴となりました。

この法律のせいで少なくとも2万5千人が不妊手術を強制され人生をめちゃくちゃにされました。またこの法律は障害がない人たちにも、障害がある人たちは不良だという思想を植え付け多くの人々に優生思想を広げ、2016年の相模原障害者殺傷事件へとつながっていきました。それなのに、国は不法行為から20年を過ぎると賠償請求権が消滅する「除籍期間」が適用されるから、(国が作った法律なのに)国に責任はないと主張してきたのです。これに対し判決は、国の責任が20年で消えたとすることは「権利の乱用として許されない」と批判。「全ての被害者」について被害回復がはたされるべきだと言ってくれたのです。

NPO日本障害者協議会(JD)と きょうされんは、この判決を受け、

一　総理大臣による謝罪
二　基本合意文書の締結
三　早急に国会での謝罪決議を行い 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けたものに対する一時金支給等に関する法律」の廃止と新法の制定。

の3点を　優生保護法問題の全面解決に向けて強く求めていくという声明をだしました。

きょうされん中国ブロック　研修会に参加して

6月21日（金）きょうされん中国ブロック研究交流会が、米子で行われ、ゲストに車いすインフルエンサーの中嶋涼子氏が「一歩踏み出す勇気～心のバリアフリーが社会を変える！」、全盲の立場から障害者の権利を発信するきょうされん専務理事の藤井克徳氏が「障害者権利条約からみる私たちの社会」をテーマに講演され二人の対談がありました。

ワークハウス・わくわく！からは、メンバーと職員が参加してきました。

この世の中は　すでに 障害のあるひと」と　これから障害者になるひと」

一番心に残ったことは、藤井専務理事が話の中で 非障害者」という言葉を使われたことです。障害者」という言葉の対語の 健常者」を意識的に使ったと言われ、日常何気なく使っている 障害者」健常者」という言葉についてもう一度考えてみるきっかけとなりました。

お話では、生きていくのに社会的な障壁がある人を 障害者」と定義づけるのならほとんどすべての人が人生の終わりが近づけば何らかの障害者となり得る。すでに障害のあるひと」と これから障害者になるひと」のちがいだけ。障害者」という言葉も将来的には変わっていくと思うということでした。（Sさん）

初めて参加し障がいのある方への自分の思いや考えを改めて考えて行動していくことが大切だと感じました。（Iさん）

2023年度　苦情報告

	受付日	場所	申出人	内容	受付者	対応結果
1	2023年4月13日	喜楽	本人	職員・利用者の言動に対して	早瀬	本人退所
2	2023年4月17日	ワークハウス・わくわく！	本人	他の利用者の処遇に対して	高橋	本人退所
3	2023年8月10日	ワークハウス・わくわく！	本人	他の利用者の処遇に対して	高橋	利用者への注意と不在時は所長・高橋へ連絡
4	2023年8月23日	喜楽	本人	職員の言動について	高橋	対象職員に注意
5	2023年8月29日	喜楽	本人	職員の言動について	高橋	所長へ報告。状況について説明し謝罪
6	2023年9月5日	喜楽	本人	連絡電話の受け取り体制について	高橋	店の電話番号を案内
7	2023年10月24日	ワークハウス・わくわく！	本人	職員の言動について	高橋	対象職員と面談。 退職
8	2023年12月1日	喜楽	母親	職員の電話対応について	早瀬	離席時職員間の引き継ぎを確認
9	2023年12月1日	喜楽	母親	連絡対応について	早瀬	店の電話番号を案内し所長が不在時は時主任が対応する
10	2023年12月11日	喜楽	本人	職員の言動について	早瀬 高橋	対象職員と面談し本人退職
11	2023年12月22日	ワークハウス・わくわく！	本人	職員の言動及び勤務体制について	高橋	引継ぎできる体制づくりを行った

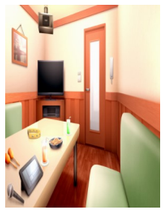
カラオケ大会やりました

5月18日(土)職員1名、わくわく！よりメンバーさん4名、喜楽よりメンバーさん1名が参加して喜楽の近くにあるカラオケ店に行ってきました。たまには大声で歌いたい」気心知れた人と楽しいカラオケがしたい」などのリクエストによりカラオケ大会が企画されました。

2時間の予約の中でめいっぱい歌おうと 歌いたい歌リスト」を作ってきた人もいれば、ランキングを見て何を歌うか決める人、私はいつもこれを歌う！」と迷いなく番号を暗証し入力する人もいて、開始早々リモコンの争奪戦になりました。

ご存知のB，zやモーニング娘。などのアップテンポの曲や懐メロ、バラード系と様々なジャンルのイントロが流れるたび 私もこれ好き！」知ってる！」と手拍子が始まり盛り上がりました。最後は参加者全員で 世界中の誰よりきっと」の大合唱となりました。

メンバーさんのリクエスト通りの時間になったでしょうか？またこんな時間が設けられるといいなと思うような楽しい時間でした。



結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますようよろしくお願い致します。
また、２０２４年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

＜振込先＞　郵便振込口座　０１３６０－０－５７７５７
社会福祉法人「結い」後援会
（個人：年1口　千円　　団体：年1口　３千円）

2023年度 ワークハウス・わくわく！事業報告

ワークハウス・わくわく！は277日開所、一日当たり15・7名、年間で延べ4、373名の方が来所され、障害福祉サービスにおける収益は36、822、022円となりました。

また、新人職員は研修生と位置づけステップアップしていけるような仕組みを導入しました。利用者へ直接かかわる職員の小さな疑問や不安に応え、職員も安心して働ける事業所作りに取り組みました。

2023年度は工賃規約を改定し、わくわく！の軽作業及びYショップの時給を50円アップ、JRで通所する方の交通費の半額補助を開始しました。これらに伴い少しだけ仕事に参加してみようかな」という人が増え、手応えを感じています。また障害福祉サービス報酬改定に伴い平均工賃の計算式が変わり2022年度平均工賃月額19、821円でしたが、2023年度は39、808円となりました。私たちはハンディを抱えた人の働きたい。」を一緒に考え共に働く事業所です。改めて一円でも多くの工賃を払うということを念頭に一致団結したいと思います。

軽作業

軽作業の収益は8、299、397円、費用は規約が変わったことで前年度よりも工賃が増額になったこと、また洗濯事業で大量に使用する水道代が値上がったことが影響し8、809、647円となり、収支差額は▲510、250円となりました。

職員利用者みんなで考え行動する好機へ

作業動線の変更により様々な人が入れ替わり立ち替わり入るようになり、対人トラブルが増加し作業の管理と人の調整に苦慮した一年でした。しかしわくわく！は設立当初より様々な得手不得手を持つ利用者が集まり、作業・苦楽を共にする中で少しずつ事業所が発展してきました。

実際に動線が変更され新たな作業や人間関係に触れることになりましたが、自ら次の目標を掲げる利用者も出てきました。より多様化していく軽作業の現場を守っていくためにも、改めて助け合って仕事を進めていくこと」や、「互いの苦手をどのようにカバーするか」私たちの仕事の先にいらっしゃるお客様に喜んでいただける仕事とはどのようなものか？」などを、職員や利用者みんなで考え行動する好機にしたいと考えています。

Yショップ

新型コロナウィルス感染症が5類へ変更となり、林精神・神経科病院内にあるYショップ店では、病棟買い物（閉鎖病棟から患者様が来店されご自分で買い物をされる機会）などを中心に一人あたりの購買金額が、前年度1、003円から今年度は1、341円へと増額となりました。その結果店頭売上が伸び、収益は10、948、281円となり、費用は10、438、031円、収支差額は510、250円となりました。

11月に専従の非常勤職員1名を雇用し臨時休業が減り、店の運営が継続できるようになりました。

利用者から常に職員がそばにいてくれるので安心して働くことができる。」そんな先輩たちに憧れYショップに挑戦してみたい。」という声が増加しました。

今後もみんなの目標となるような職場づくりに努めていきたいと思います。

2023年度 喜楽 事業報告

単独事業所の安定した経営をめざして

２０２３年度は、２０２２年10月に事業所が独立し、はじめて一年を通しての運営となりました。また感染症も5類移行となり、事業所にとっては本来の運営や活動が戻ってきた年でした。

動きが止まっていた見学や新規受け入れは再通所3名、新規2名を受け入れることができました。しかし最終的には2022年度と比較すると延べ154名の利用減となり、一日平均通所者数も目標とした13名に届かず11・9名に留まりました。そのため、最低賃金の引上げを含む人件費の増加に対し通所者の受け入れ人数を伸ばすことができず、福祉事業単独では赤字決算となりました。単独事業所としての経営の安定が2024年度に続く大きな課題となってきています。

宅配弁当屋　喜楽

会議食の復活！前年度２２０万上回る３１００万円売上達成！！

この間受注がなくなっていた会議食の注文が復活し、100名規模のコンサートの弁当など、年間で1、165、615円の売り上げがありました。併せてここ数年取り組んできたおせち料理や恵方巻きなどの販売も定着し年間1、100、992円の売り上げにつながりました。

主力の日替り弁当についてはデイサービスの受注減の影響を受け年間延べ1、089食の受注減となりました。原材料費高騰を受けて値上げを行ったことで全体収益としては前年度よりも2、206、891円多い31、007、767円の収益を上げることができました。

しかしながら、燃料費やガソリン代などの高騰が続き、老朽化が顕著な配達車両を買い替えたくても資金が足りず、木口福祉財団様より181万円の助成金を頂戴し、配達用保冷車1台を更新することが出来ました。また結い後援会様からは厨房ユニフォーム更新のための寄付金82、000円をいただきユニフォームを新しくすることができました。皆様からの温かいお心には本当に感謝申し上げます。

喜楽では仕事を厨房・配達・事務・庶務などの部門に分けていますが、2023年度は部門を超えてカバーに入るなど新しい流れが出てきています。物価高騰やドライバー確保が進まないなどの課題はありますが、みんなの力を合わせて2024年度も一歩前進する年としていきたいと思います。

ボーリング大会 今年も盛り上がりました

6月22日（土）フェアレーン岡山にて毎年恒例のボーリング大会が行われました。お馴染みの方に加え、喜楽から初参加の方が1名、総勢19名の賑やかな大会となりました。「今年こそは上位を目指して！」「去年よりも良いスコアを！」などなどみなさん思い思いに楽しまれている様子でした。みんながお互いに声をかけあったりいい結果の時にハイタッチや、拍手がおきたりと楽しく過ごすことができました。

ボーリング後には豪華景品のくじ引きもあり、とても盛り上がっていました。大会の結果は、上位3名はここ数年顔ぶれは変わらず。この3名の高く厚い壁を倒すことは本当に難しいでしょうね（泣）メンバーさんからボーリング後「久々に体を動かしたので、下半身が筋肉痛だ！」「腕が少し痛い」と言われている方もいましたが、来年もみんなで元気に参加出来たらと思います。